

市議会だより

いちき 半木野

(パークゴルフ場の桜)

No.86
2022.5.6

1月臨時会(1月31日)・3月定例会(2月21日～3月29日)

- 6人の議員が市政を問う・・・P2～5
- 令和4年度当初予算審査・・・P6～9
- 令和3年度補正予算審査・P10～11
- 条例等の制定・改正・・・P12～14
- 表決結果・・・P15
- 議会の動き・・・P16

いちき串木野市政の ここが知りたい!!

一般
質問

※一般質問とは、議員が市の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもので、政策論争が行われています。

3月定例会の一般質問では、市政について6人の議員が12項目の質問をしました。

質問・答弁の内容(3~5ページ)は、議員本人が要約しています。

※3月定例会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一般質問の質問時間を短縮しました。

通常45分 ⇒ 今回30分に

(※市当局からの答弁時間は含みません。)

3月4日(金)

ひがし いくよ
東 育代 議員 (P3)

1. 生理用品の配布について
2. 市内公立中学校のICT活用について

まつさき みきお
松崎 幹夫 議員 (P3)

1. 人口増、人口維持の取組について
2. ごみ収集の在り方について

なかさと すみと
中里 純人 議員 (P4)

1. 子育て支援について
2. 教育行政について

3月7日(月)

だいろくの かずみ
大六野 一美 議員 (P4)

1. 市政運営について

よしどめ りょうぞう
吉留 良三 議員 (P5)

1. 農業施策について

たなか かずや
田中 和矢 議員 (P5)

1. 業務継続計画(BCP)の作成について
2. 「KACCHEL(カッチェル)」の利活用状況について
3. 長崎鼻公園の整備(場所選定)について
4. 公共施設名称の決定方法について

お知らせ

※今回から一般質問ページのレイアウトを少し変更しました。(3ページから5ページの部分です。)

議員の顔写真が少し小さくなりましたが、文章が60文字ほど増えており、一般質問の内容がより読者に伝わりやすくなるように工夫しました。

また、それぞれの一般質問の映像ページも、QRコードから読み取ってすぐにご覧いただけます。

今後とも、読者の皆さんが読みやすい・親しみやすい市議会だよりの作成に努めてまいります。

(議会広報特別委員会一同)



東 育代
議員



[映像配信ページ]

生理用品の配布は 相談支援の一環として提供する

問 生理の貧困という言葉の広がりとともに、国や県、民間団体や自治体で支援が始まっている。本市も公共施設など、生理用品の配布は考えられないか伺う。

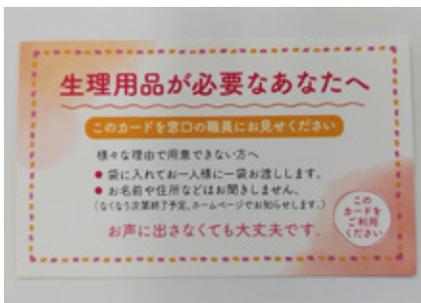
答 国や県の動きを踏まえ生活困窮者等への相談支援の一環として生理用品を提供する。

問 近隣の自治体では、公共施設の子女子トイレに生理用品や受け取りのカードを配置するなど取り組みが始まっているが、本市ではどうか伺う。

答 公共施設のトイレではなく、相談支援を行っている福祉課につながる串木野庁舎「あいびれっじ」のある健康増進センターにカードを置き、状況を見ながら次の段階で検討する。

問 自治体によっては、小中学校の女子トイレ等に生理用品の配布（引き替えカード）などの取り組みが始まっている。本市の支援体制について伺う。

答 各学校の保健室で対応している。カード利用については、子供たちの意見も取り入れ検討していく。



(先進地で利用されているカード)

小中学校のICT活用は 積極的に推進していく

問 新型コロナウイルス感染症等対策による自宅待機や学校休業中の児童生徒とのオンライン授業の実施状況について伺う。

答 臨時休業や自宅待機等の児童生徒へのオンライン授業を8校で実施。緊急下校などの事前説明や事前指導の時間が十分に取れずプリント対応の学校もあった。

問 GIGAスクール構想で整備した情報端末の持ち帰りの現状と今後の取り組みについて伺う。

答 原則通常時の持ち帰りはできないが、緊急時には校長の判断で持ち帰りを許可する。2月にICT機器貸し出し実施要項を作り、3月中旬に各学校に通知する予定。今後運用に向けてルールなどを指導、保護者の理解を得られるように周知していく。



松崎 幹夫
議員



[映像配信ページ]

人口増・人口維持の取組 今いる市民を豊かに

問 人口流出をできるだけ止めることが課題であり、魅力ある取組を気に入ってもらって、本市に喜んで来ていただきたいが、どのように考えるか。

答 人口減少対策として、本市へよそからの移住者・転入者を増やすための補助金など、よその町との優遇策の競い合い・人口の奪い合いは、根本的な人口減少対策ではないと思う。

問 人口増に対して魅力を持つ、人を呼ぶ取組として、今何を考えているか。

答 同じエネルギーを使うのであれば、今市内にいる人、住んでいる人、この方々の幸福度・満足度を上げるのがまずは大事である。

問 麓土地区画整理事業も終わろうとしている。市として転入促進のためのアピールが重要と考えるがいかがか。

答 広報や価格の見直しを適宜行い、不動産業者など民間とも連携した不動産情報サイトへの掲載、SNSの発信力を活用した若い世代への情報発信に努める。

問 市有地に係る管理費も大変だが、売するための工夫が必要と考えるがいかがか。

答 購買意欲の喚起につながるよう、工夫した看板設置等の取組に積極的に努めていく。

粗大ごみ収集の在り方 注意喚起の看板設置を検討

問 粗大ごみの量が増えていると聞くが、現状と対策を伺う。

答 収集では5年前と比較して年間約40トン増加している。また、環境センターへの直接搬入も年間約100トン増加している。粗大ごみの搬出は、名前の記入のルールが無いいため、搬出者の特定が困難な状況である。

問 本市では粗大ごみを簡単に捨てられるという点からすると、収集作業に立ち会うなど、何らかの対応ができないものか。

答 監視は困難だが、適正なゴミ出しについて広報紙への掲載や、注意喚起の看板を立てるなどの対策を検討する。





中里 純人
議員



[映像配信ページ]

不妊治療

自己負担の一部補助

問 安心して不妊治療できる環境づくりはどう取り組むのか。

答 730万円の所得制限が撤廃され申請件数は増加している。企業等を含め不妊治療の正しい理解のための啓発や4月からの保険適用の拡充による自己負担の一部を補助する。

問 共働きの家庭が急増する中で子育て支援センターの休日の開所や時間延長等はどうか。

答 利用者アンケートでは、おおむね高い評価を得ている。ニーズ調査や職員体制・施設利用の調整を

し、日曜日の開所について検討を進める。

問 男性産産休制度では、父親が子どもの生後2か月以内に4週間の休みを取得できるようになる。イクボス宣言(従業員が仕事と子育てを両立できる環境をつくる取組)を進めてはどうか。

答 市内に2つの宣言事業所がある。子育てしやすいまちの取組として、イクボス宣言は有効である。市役所がイクボス宣言をして、市内の各事業所に広げていく。



教員不足

県へ代替教員の配置申請

問 教員の志望者が減少している。多忙化の改善はどうか。

答 6人の教職員が育児休業等を取得しているが、1校に代替教員がまだ配置されていない。教員の8割以上が業務改善に取り組んでいるものの、授業の準備や子どもとしっかり向き合うための時間確保が課題である。

問 タブレット利用で学校間の格差は生じていないか。

答 小5で活用が高い学校は90%低い学校は33.3%。中1は57.4%と11.2%、学校間で差が生じている。

問 やむを得ず登校できない児童生徒に、タブレットでのリモート授業を行ってはどうか。

答 授業のライブ配信を含め、タブレット端末の活用を学校の実情に応じて取り入れていく。保護者にもタブレット持ち帰りのルール、決まり等を周知する。



大六野 一美
議員



[映像配信ページ]

市政運営の骨子は

管理型から経営型へ

問 本市の市政運営に関する基本理念を管理型から経営型に転換するという具体的内容を伺う。

答 管理型の行政運営は、行政の公平性、平等性に重きを置いて、全ての分野を満遍なくやると捉えている。

一方、経営型の行政運営は、地方公共団体を一つの事業体とみなして、戦略を立て、強みの部分に重点化を図り、持続可能なまちづくりを進めていくことだと捉えている。

問 従来の管理型からどのようにして経営型に変えようと考えているのか。

答 今、都市間競争ということが言われている。そこで、本市の魅力、強みの部分に磨きをかけて、本市らしさを前面に出していく考えである。また、時代の変革とともに変えるべきところは勇気を持って市民の皆さんと議論しながら変えていく。

人口増の施策は

本市住民の満足感が優先

問 本市の特色を生かしながら、交流人口、転入人口を増やす施策を伺う。

答 少子化の問題点、原因を探ることが最優先であることから、少子化対策に取り組むべきであると考える。

様々な支援対策をすることで、本市の魅力に引かれて、市外からの移

住人口、交流人口につながると思う。本市に住んでいる方の満足感を最優先とし、そのことが自然に市外の方からも高い評価を受け、次の段階として移住定住につながるかと考える。

職員への訓示は

頑張った成果は評価される

問 職員のやる気を引き出すには、上の者が後ろ姿を見せることが必要だと言われたが、市長は職員に対し、どのような後ろ姿を見せていく考えか。

答 職員にやる気を出してほしい思いで、熱血職員という言葉を使っている。それには、上に立つ者が率先垂範して、一生懸命頑張っている姿を見せる。その姿が職員にその意気込みが伝わるとともに、頑張った職員を評価する仕組みづくりが必要と考える。



吉留 良三
議員



[映像配信ページ]

有機農業の振興を

農業人口の維持が優先課題

問 温暖化や環境保全対策、地域循環型経済構築、安心安全な食料の安定的確保対策に農業・有機農業推進を。

答 環境保全型農業は重要だと認識しているが、本市の最大の課題は農業人口維持で、まず地域ぐるみ営農の継続を推進する。

問 本市の現状から、家族農業、小規模農業対策が必要では。

答 耕作放棄地を増やさないために諸交付金も使い地域の協働活動に取り組んでいる。地域や状況に応じた対応を検討する。

問 環境保全型農業、有機農業を推進する時ではないか。

答 国の交付金や市単独で有機JAS認証制度取得補助などで支援している。有機農家は若干増加して県平均を上回る5.6%。国も30年後を見据えた計画を出した。有機農業を主体の生産者と連携する。

問 国も補正予算をつけて、市主体で有機農業を取り組む地域を支援するオーガニックビレッジ構想を出してきたがどうか。

答 今後細部にわたる事業内容や他市の取組状況を注視する。

問 有機農業を進めるためには、有機認証の取得が必要だが。

答 市の単独事業で有機JAS認証制度取得補助を行っている。

有機食材を学校給食に

食材の安定的量確保など課題

問 国も学校給食への有機食材提供が有力な販路と位置付け

振興を図っているがどうか。

答 食材は地元産利用に努めているが、安定的に供給できるか価格面も保護者の負担増の検討が必要で現状での積極的活用は困難。

問 残留農薬が子どもの発達障害等の原因と言われる点からも有機給食導入を。

答 学校給食の食材は、国内産の野菜を使用し、可能な限り地元産の納入をお願いし、納入時も品質や鮮度などの検収を行っている。パンも残留農薬や放射能検査で問題のない小麦粉を使っている。

問 有機農業の推進、給食への有機食材の導入を進めれば、食のまちの魅力を上げることになるのでは。

答 確かに有機で特色を出し、ほかの町と差別化を図るのは選択肢だ。しかし業として競争に勝ち残るのは大変難しい。業として成り立てば後継者も出てくる。



田中 和矢
議員



[映像配信ページ]

業務継続計画の作成状況は

分散・時差出勤等で対応

問 オミクロン株の拡大に備えた市役所内の業務継続対策の準備、検討状況はいかがか。

答 業務場所の変更、経験者の応援名簿を作成。分散・時差出勤等でサービスを継続する。消防は二部制から三部制で人員を確保する。「学びを止めない」学校対策は、時間割調整、入れ替え、教頭による授業等で対応する。

カッチェルの利活用状況は

積極的な活用を図る

問 留学生のシェアハウスと市立ハローワークの入る施設について、利用状況と今後の経営型運営の展望はいかがか。

答 現在コロナ禍で利用は少ないが、次年度は留学生待機者が37人いる。日本語教室・日本理解講座・コミュニケーションの場としても活用したい。ハローワークは、年間3000人の来訪があり、さらに積極的活用を図りたい。

長崎鼻公園の選定・整備

利用しやすい公園へ

問 子どもを核としたまちづくりが必要である。津波の際の避難の点、松林で見通しが悪い点、安全面等は配慮されているか。

答 想定最大津波高は7.3mであり、標高10mを確認済。景観に配

慮した樹林の間伐をし、豊かな自然と触れ合える憩いの広場、子育て世代から高齢者まで、利用しやすい公園の整備をする。



公共施設名称の決定方法

今後は公募を検討

問 名前(名称)を開けば誰にでも分かり市民が関心・愛着・親しみがわく名称となるように、「公募」で決める方法はとれないか。

答 今後、必要に応じ名称の公募も検討していく。

令和4年度当初予算を可決 《前年度比0.5%増》 一般会計164億3,200万円を計上

予算審査は、議長を除く15人の委員で構成する「予算審査特別委員会（委員長：松崎幹夫、副委員長：江口祥子）」を設置して、3月14日、16日、17日、18日の4日間にわたり委員会を開催しました。

○当初予算の概要（市長説明）

令和4年度の当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策のほか、総合雨水対策整備方針策定事業や尻塞川水門改修事業などの内水氾濫対策、消防・防災資機材の整備など、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進しつつ、洋上風力発電に関する調査研究事業やサテライトオフィスへのIT企業誘致、新工業団地整備について用地取得に向けた取組など、新たな産業創出等に重点化した予算となっています。

歳入面では、地方交付税及び国や県からの各種譲与税・交付金は増収を見込んでいるが、固定資産税などの市税は減少傾向にあり、また実質的な地方交付税である臨時財政対策債も大幅な減少となっています。

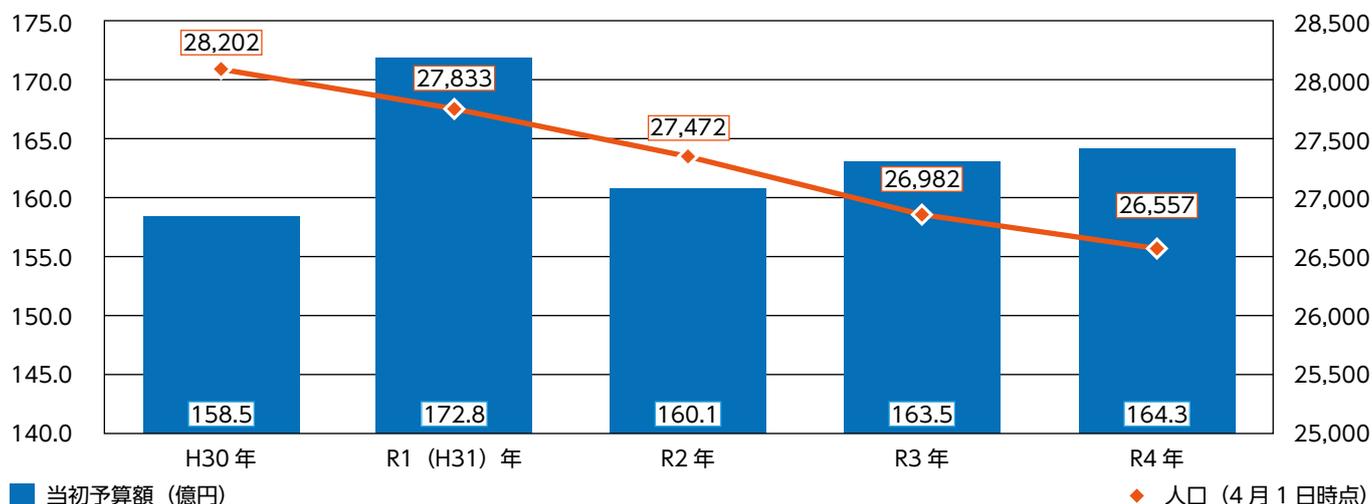
歳出面では、職員数の減少などにより人件費が減少する一方、物件費や普通建設事業費が増加したため、財政調整基金等からの基金繰入を行って予算が編成されています。

世界的な新型コロナウイルス感染症のまん延から、経済の状況は先行き不透明であり、人口減少が続くことを考えると、税収減など今後さらに厳しい財政状況が見込まれます。このことから、これまで以上に事務事業等の歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、効率的で持続可能な財政運営に努めます。



【当初予算の説明をする中屋市長】

○一般会計当初予算額と人口の推移



○令和4年度に実施する主要施策

令和4年度に実施する主要施策を、3つの項目に分けて紹介します。

1. 安心して暮らせるまちづくり

項目	事業名	予算額
新型コロナウイルス対策	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	8,428万円
防災・減災	[新] 総合雨水対策整備方針策定事業	410万円
	尻塞川水門改修事業	1,500万円
	[新] 防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業	2,939万円
	[新] 要配慮者支援台帳システム更新事業	638万円
消防・救急	[新] 消防施設整備事業(消防署救急車両)	3,850万円
	[新] 消防施設整備事業(消防団消防車両・湊分団)	2,530万円
地域福祉の推進	[新] 地域福祉計画策定事業	700万円
社会基盤の整備	道路改良特別事業(口之町3号線ほか8路線)	1億400万円
	橋梁長寿命化事業(東海大橋ほか)	5,700万円

2. 未来につながる投資の推進

項目	事業名	予算額
企業誘致・雇用形成	新工業団地整備事業(候補地の不動産鑑定評価など)	100万円
	IT企業誘致推進事業(MINATOよりあいオフィス)	1,525万円
エネルギー関連	[新] 洋上風力発電調査研究事業	3,970万円
教育の振興	学校ICT機器等借上事業	7,563万円
産業基盤の強化	[新] 食のまちシティセールス基本計画策定事業	310万円
	農業振興地域整備計画策定事業	346万円
農業振興	[新] 活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金(生福果樹生産組合・(株)オクトファーム)	1億3,519万円
水産業振興	新規まぐろ漁業就業者支援金	200万円
	魚類種苗放流事業補助金	132万円
観光振興	薩摩藩英国留学生記念館誘客PR事業	575万円

3. 持続可能なまちづくり

項目	事業名	予算額
行財政改革	個人番号カード交付事務費	1,114万円
少子化対策・子育て環境の整備	不妊治療助成事業	250万円
	子育て世代包括支援センター(利用者支援事業・母子保健型)運営費	928万円
雇用施策	市立ハローワーク運営事業	128万円
その他	[新] 「2040年のまちを考える会」開催経費	50万円

これまで築かれてきた本市の誇るべき魅力や特色を大切な財産としてしっかりと引き継ぐとともに、新しい時代の変化に的確に対応しながら、今後の施策に取り組みます。

『届け、市民の声!!』

議員の質問・要望が当初予算に反映

これまで市政に対して行ってきた質問や要望が、今年度を実施する事業として予算計上されました。

2040年のまちを考える会

次代を担う若者が地元へ愛着を持ち、誇りを育み、生涯にわたって活躍できるよう、若者が地域参画しやすい環境づくりに取り組む必要がある。



厳しい時代のなかでも夢や希望を描けるよう、自由闊達な意見交換の会を設置する。

(事業費：50万円)

IT企業の誘致

ICT（情報通信技術）の進展により、場所を選ばない働き方が増えている。本市の魅力や特色を活かした企業の呼び込みができないか。



市街地に整備したサテライトオフィスにIT企業を誘致し、新たな雇用の場を確保する。

(事業費：1,525万円)

洋上風力発電の調査研究

再生可能エネルギーである洋上風力発電の導入を進めるために、住民・事業者・市担当者・専門家などにより協議を進めていくべきではないか。



利害関係者等からなる協議会を立ち上げ、調査研究をしながら理解促進に取り組む。

(事業費：3,970万円)

アプリを活用した健康づくり

本市は医療費が高い状況が続いている。生活習慣病の方も多いため、日頃の健康づくりの取組を進めるべきではないか。



スマートフォンのアプリを活用して、市民の健康づくり支援を行う。

(事業費：94万円)

パークゴルフ場の直営管理

利用者からは「芝は伸びて、バンカーは硬く、植栽も荒れている」との声がある。利用者へのサービス低下につながらないよう、管理に努めてほしい。



令和3年度まで指定管理をしていたが、令和4年度から市直営で管理し、改修のための設計を行ったうえで、改修工事を進める。

(事業費：1,739万円)

河川の^{しゅんせつ}浚渫工事

近年の豪雨災害などにより、河川の氾濫が発生している。国からの財源的な支援がなされているので、計画的に工事を進めていくべき。



国の緊急浚渫推進事業債を活用して、河川の堆積土砂の撤去などを行う。

(事業費：1,200万円)

○予算審査の質疑・意見（主なもの）

1. 質疑

問 洋上風力発電調査研究事業について、委託料が3,940万円となっているが、どのような内容か。

答 洋上風力発電についての各種情報のほか、雇用の創出や産業振興など経済効果についても調査・研究を行う。また、洋上風力を含めたエネルギーに関するシンポジウムの開催を予定している。

問 長寿祝金支給事業について、今回、写真撮影を満90歳から満88歳としているが、できるだけ元気な姿を残せるよう、さらに年齢を引き下げて満80歳に改めることはできないか。

答 平均年齢の伸長などを考慮して、今回、満88歳と満100歳の祝金とした。祝金と写真撮影を満88歳とすることで、お祝いを集中させたい。

問 健康インセンティブ事業について、健康に無関心な方へどのようにアプローチしていくのか。

答 ホームページや広報紙のほか、市の公式LINEでも参加を呼びかける。また、今回の取組にはポイントがつき、上位の方には表彰も考えている。少しでも興味を持ってもらえるよう、広報の方法を考えたい。

問 総合雨水対策整備方針策定事業について、どのような計画か。

答 詳細なシミュレーションを作成して分析をするなど、現状を把握したうえで、下水道区域内の排水冠水対策など、特に行うべき対策から段階的に整備していく方針で、雨水管理総合管理計画を策定する。

問 特別支援教育支援員の支援内容はどのようなか。

答 発達障害の傾向がある児童・生徒に対して、授業中に教師の指示の補足をしたり、教科書や問題文にふりがなをつけたり、階段の昇降や着替えの介助など、児童・生徒のニーズに応じた支援を行う。

問 子ども読書活動推進事業のセカンドブック事業が廃止されたが、今後の対応はどのようなか。

答 3歳児健診時の絵本の提供はなくなるが、読み聞かせに適したブックリストの提供や、読み聞かせの実演や図書館サービスの説明・PRを行い、家庭での読書や読み聞かせの普及啓発に努めたい。

問 学校教育専門員配置事業の内容と連携体制は。また、どのように事業を進めていくのか。

答 令和4年度から新たに取り組む事業であり、就学支援や特別支援教育に関する業務のほか、いじめや不登校などに関する業務などを担当する専門員を学校教育課に配置する。

指導主事との連携を密にするとともに、必要に応じて、福祉課や子どもみらい課、健康増進課をはじめ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、警察、児童相談所などの関係機関と連携し、子どもを取り巻くさまざまな課題に対応したい。

2. 意見

・ふるさと納税寄付金について、他市ではクラウドファンディングにより新たな地場産品を開発している。魅力ある返礼品の開発を進めるうえでも積極的に取り組んでほしい。

・2040年のまちを考える会について、わずか16人の委員で、いちき串木野市の将来を語るができるのか疑問。他市での事例も参考に、市民総ぐるみで取り組む方法を考えてほしい。

・冠嶽芸術文化村構想推進事業について、令和4年度が最終年度となることから、終了後も地域が自走できるよう取り組んでほしい。

・最終処分場の管理費について、今後も継続した修繕が見込まれることから、少しでも管理費用を抑えられるよう、部品の調達など工夫してほしい。

全体的な意見

・今回、事務事業の見直しにより削減・縮減された事業が数件あったが、利用頻度や金額だけで判断するのではなく、市の施策として残すべきものは残すという判断もあるのではないかと

・特に削減するものや内容が変わるものは、丁寧な説明に心がけてほしい。

・少ない予算のなかで効果をあげるためにも、各課が連携して、情報や目的を共有しながら、取組を進めてほしい。



1月臨時会・3月定例会補正予算

『住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業』や
『ウッドタウン3工区用地の買戻し』など

一般会計補正(第9～11号) **12億702万9千円を追加計上**
《一般会計予算総額192億5,785万2,000円に》

【一般会計：歳入の主なもの】

・普通交付税の追加 **7億938万円**
今回の補正により、今年度の普通交付税額は51億2,329万円となる見込みです。

・基金繰入金の減額 **▲4億1,202万円**
決算見込みにより基金からの繰入金を減額します。

	補正前	補正後
財政調整基金からの繰入	2億402万円	0円
市債管理基金からの繰入	2億800万円	0円

・市債の減額 **▲1億480万円**
今回の補正により、令和3年度末時点における市債残高の見込み額は197億3,374万円となります。このうち116億6,225万円が交付税で措置される見込みです。(措置率：59.1%)

【一般会計：歳出の主なもの】

・非課税世帯等への給付金 **5億1,480万円**
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、住民税非課税世帯等や家計急変世帯に対して、臨時特別給付金を支給します。(事業費は全額が国からの補助)

【支給対象者】約5,000世帯

①住民税非課税世帯等	約4,700世帯
②家計急変世帯	約300世帯

【給付額】1世帯あたり一律10万円
(2月末より支給)

・企業の施設整備への補助 **4億5,500万円**
鹿児島プロフーズ(株)が鶏糞を燃料として行うバイオマスボイラー設備(2基)を整備することに対し、国からの補助を行います。(補助率1/2)

・転入/転出届のシステム改修 **319万円**
マイナンバーカード所有者がワンストップで転入/転出の手続きができるよう、住民基本台帳システムの改修を行います。(事業費は全額が国からの補助)

問 マイナンバーカードを使って、転出・転入時にどのような手続きになるのか。

答 パソコンやスマートフォンを利用して、マイナポータルサイトにアクセスし、転出届と転入予約の手続きが行える。こうすることで、転出手続きのために市役所に出向くことがなくなり、また、転入手続き時の書類作成が省略されることで、利用者の手間の軽減や手続き時間の短縮につながる。運用開始は令和4年度末を予定。

・保育士等への処遇改善 **424万円**
新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く保育士や児童支援員の処遇改善を行います。(事業費は全額が国からの補助)

・保育施設等への給付費追加 **1,630万円**
0歳児の受入れ人数の増などに伴い、保育施設等への給付費を追加します

・有害鳥獣捕獲補助金の追加 **163万円**
有害鳥獣の捕獲実績に基づき、補助金を追加します。

	補正前	補正後
捕獲数(匹、頭、羽)	1,630	1,704
予算額	900万円	1,063万円

・コロナの時短要請協力金 **1,210万円**
新型コロナウイルス感染拡大防止策として鹿児島県が令和3年8月20日から9月30日までの期間で行った飲食店の営業時間短縮への協力金に対し、市の負担金分を計上します。(負担率1/10)

・市来防災ダム整備の負担金 550万円

県が行う市来防災ダム整備について、事業費が決定したことから、その負担金を追加します。

	既定額	決定額	増減
総事業費	2億円	3億1,000万円	1億1,000万円
負担金	1,000万円	1,550万円	550万円
負担率	5%	5%	-

問 今回のダム管理システムの改修により、どのような点が改善されるのか。

答 今回はダムの警報に関するシステム改修を行う。これまで串木野ダムと市来ダムを別々に管理していたが、今回の改修により、農政課及び防災センターで一元的に管理ができるようになる。

・漁港整備負担金の追加 2,302万円

県が行う漁港整備事業費が決定したことに伴い、市の負担金を追加します。

漁港	整備内容
串木野漁協	島平防波堤への消波ブロック設置
戸崎漁港	埋め立てに係る用地護岸、道路護岸

意見

毎年かなりの負担金を出している。将来を見据えた投資になるのか見極めてほしい。

・バス運行への補助 1,250万円

市内でのバス運行に対する補助を行います。

	補助額
地域間幹線系統：上川内・鹿児島線（3系統）	255万円
地方バス市内路線：羽島・土川線等（2系統）	995万円

問 地域間幹線系統確保維持補助金は、どのようにして算出されたのか。

答 運賃等の収入から人件費や燃料費等の支出を引いて、赤字が出たときに、国と県から9/20以内で補助金が出され、それを基に市も負担を行っている。

上川内・鹿児島線は、鹿児島市・日置市・本市・薩摩川内市を結ぶ路線であり、それぞれの走行距離に応じて負担割合が定められている。



・学校教育施設整備基金積立 1,194万円

今後の学校教育施設の整備のために、新たに基金を積み立てます。

・ウッドタウン用地の取得 1億3,890万円

ウッドタウン3工区用地（4,781.44㎡）を土地開発公社から買い戻すための費用を計上します。

問 今回の買戻しの土地は法面部分だが、ウッドタウンの住宅用地の買戻しは、まだ残りがあるのか。

答 今回提案している工区用地だけが残っている。3工区用地は、これまで市営住宅建設部分だけを買戻しており、今回で残地部分を買戻す。

問 当初予算で提案せずに、補正予算で提案した理由は何か。

答 当初予算においては、財源の見通しがなかなか立たない面がある。国の税収の増により普通交付税が大幅に伸びている状況もあり、収支の状況を考慮して今回の提案とした。



(赤い部分が対象)

【特別会計】

・国民健康保険特別会計 7,320万円

令和2年度の普通交付金の確定などに伴い県支出金返還金を追加するほか、国民健康保険基金積立金を追加します。

・基金残高：4億2,996万円(3月補正後の見込額)

・介護保険特別会計 ▲9,834万円

決算見込みにより、介護サービス等諸費の減額や高額介護サービス等費の追加を行うほか、介護保険基金積立金を追加します。

・基金残高：3億3,065万円(3月補正後の見込額)

・後期高齢者医療保険特別会計 ▲86万円

決算見込みにより、保険基盤安定分担金を減額します。

条例の制定・改正、その他

○市長、副市長、教育長の給与の減額

市職員の不祥事に対し、監督責任を負う立場にある者として、自ら給料月額を減額する。

- ・市長…50%減額
- ・副市長及び教育長…30%減額
- ・令和4年2月分を対象(1か月分)

○専決処分の承認

住民税非課税世帯に対する「臨時特別給付金」に係る予算措置に急を要したため、専決処分した。

- ・この事業に係る補正予算額…5億1,480万円(全額、国庫補助金)

○和解及び損害賠償

令和3年9月18日に旧土川小学校前水路で発生した事故について、損害賠償の額を定め和解する。

○基金の新設、統合・廃止

学校教育施設整備基金を新設するほか、基金の統合、廃止を行う。

○サテライトオフィスを新設

元町198番地(花牟礼病院前)にサテライトオフィスを設置し、IT企業等を誘致する。

施設の名称は「MINATOよりあいオフィス」。

1階を「コワーキングスペース」、2階を「オフィススペース」として整備し、開館は令和4年5月中を予定している。

問 具体的に、どのようなIT企業の誘致を考えているのか。

答 本市の特色である食産業の開発や観光やイベント等に付随する産業の発展に繋がる企業が望ましい。そういうIT企業と接触している。

○消防団員の出勤報酬の見直し

出勤の状況や時間により、1日当たりの報酬を改正する。

風水害や大規模な地震・津波・台風等は8,000円。その他の火災や災害などは8,000円、ただし、出勤が4時間未満の場合は5,100円。その他、訓練や会議への出勤は5,100円。

○国民健康保険税条例の一部改正

鹿児島県全体の国民健康保険被保険者数の減少による保険給付費の減に伴い、事業費納付金の減少が見込まれるため、令和4年度から国民健康保険の負担を軽減する。そのほか、子育て世帯を対象に、未就学児の均等割額を軽減する。

	変更前	変更後
所得割額	17.68%	17.56%
均等割額	45,000円	41,100円
平等割額	38,900円	35,200円

※上記の引き下げによる影響額は、被保険者1人当たり3,358円、1世帯当たり5,140円の見込み。

○介護保険条例の一部改正

低所得者対策として、令和4年度及び5年度における介護保険料第1段階から第3段階までの保険料を引き続き減額する。

○長寿祝金の支給の見直し(改正)

少子高齢化及び平均寿命の伸長により、支給対象年齢と支給額を改正する。

見直しの内容は次の表のとおり。

【これまで(改正前)】	
・満80歳(5,000円)	・満88歳(5,000円)
・満90歳(5,000円)	・満95歳(5,000円)
・満100歳(50,000円)	・100歳以上(10,000円)

【今回の改正により】	
・満88歳(10,000円)	・満100歳(50,000円)
※満80歳、満90歳、満95歳、100歳以上は廃止となります。	

※その他の改正として、写真撮影を90歳⇒88歳に見直し、花かごの廃止(100歳以上)。

なお、令和4年度の写真撮影は、満90歳、満89歳、満88歳になられる方が対象者となる。

意見 祝金の対象となる方々は、戦前・戦中・戦後と国や地域を造り上げてきた方々であり、この方々の祝金を縮小することには反対である。

意見 平均寿命が伸び、該当者が増えている状況からするとやむを得ない。他市の状況をみても改正は理解できる。

○市道の廃止、認定

麓土地区画整理事業区域内の一部路線を廃止し、整備した道路を市道認定する。

- ・廃止路線…8 路線（麓線など）
- ・認定路線…41 路線（宇都良 1 号線など）

○都市公園条例等の改正

麓地区に整備した**蒲半田公園**を都市公園に定める。

問 遊具等の設置は検討しているのか。

答 造成及びフェンス設置は済んでいる。遊具は利用状況等により設置を検討する。



○市営住宅条例等の改正

市営住宅等の入居に必要な連帯保証人の取扱いを見直す。

主な改定内容は、

- ①連帯保証人を 2 人から 1 人とし、新たに別途緊急連絡先を求める。
- ②個人に加え、**法人保証**を認める。（法人とは、家賃債務保証業者・居住支援法人）

○市民プール条例の廃止

第 1 期建物系個別施設計画により、市民プール（市来庁舎西側、昭和 47 年建設）を廃止する。

今後、周辺施設の駐車場として整備。

問 子ども達が楽しく遊べる場がなくなる。受け皿は何か考えているのか。

答 今後は、同等施設の長崎鼻海水プールを利用してほしい。小さい子ども達が遊べるように、プールの深さなど考えていきたい。



○市議会議員及び市長・副市長・教育長の報酬等の減額改正

特別職報酬等審議会の答申を尊重し、期末手当の支給割合を改定。

年間 3.20 月分⇒ 3.10 月分（0.10 月分引き下げ）

※令和 3 年度の引き下げ分についても、令和 4 年 6 月分で減額措置を行う。

○市職員の給与の減額改正

人事院勧告に伴い、期末手当の支給割合を改定。

年間 4.45 月分⇒ 4.30 月分（0.15 月分引き下げ）

※令和 3 年度の引き下げ分についても、令和 4 年 6 月分で減額措置を行う。

○「川内原発 20 年運転期間延長」に伴う課題の調査・研究、議論などを求める陳情

○提出者 川内原発 20 年延長を考える会
藤島真紀（いちき串木野市湊町）

○提出日 令和 3 年 11 月 24 日

（陳情趣旨）

川内原発の「20 年運転期間延長」に伴う、課題の調査・研究を早急に開始し、議会での議論及び市民への情報提供に取り組むことを求めるもの。



◆採決結果…賛成少数により否決

《委員会での意見》

- 市民の命と健康を預かる議会なので、早めに取り組むべき。
- 九州電力が方向性を示さない中での検討は時期尚早である。
- 市議会として川内原発を視察するほか、情勢や現状はそれぞれの議員が勉強している。
- 情報提供は事業者である九州電力が行うのが当然である。

《継続審査とした陳情…2 件》

【令和 3 年陳情第 3 号】小原台地高台付近における新たな避難場所の整備に関する陳情

【令和 4 年陳情第 1 号】分煙環境整備に関する陳情

○人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦。

引き続き、福永礼子氏（西塩田町）、臼井京子氏（住吉町）が推薦されました。

○農業委員会委員の任命に係る認定農業者等の過半数要件の例外適用

本市の農業委員会の区域内における認定農業者の数が国の定める基準を下回るため、「農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とする。」例外摘要。

- 国が定める認定農業者の数…96人
- 本市の認定農業者の数………41人

○農業委員会委員の任命

任期満了に伴い、12人の委員を選任。

氏名（地区）	氏名（地区）
1. 池田善之氏（川北）	7. 西村四男氏（川北）
2. 川畑千秋氏（冠岳）	8. 外菌健藏氏（野平）
3. 久木山純広氏（上名）	9. 蓑手幹夫氏（荒川）
4. 木場由美子氏（川南）	10. 古賀久美子氏（大原）
5. 樋ノ口正信氏（川北）	11. 野元京子氏（野平）
6. 西 美香氏（生福）	12. 前田浩二氏（照島）

※農業委員会委員の任期は、令和4年4月から令和7年3月まで（3年間）

○ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

いちき串木野市議会では、「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議」を、全会一致で可決しました。

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

去る2月24日、ロシアはウクライナへ軍事侵攻した。

隣国の主権と領土を武力で踏みしめる暴挙により、一般市民を含め多数の死傷者が出ている。

今回の軍事侵攻は、「主権の尊重」「領土の保全」「武力行使の禁止」などの国連憲章違反であり、国際社会の秩序を失わせるとともに、世界や我が国の平和と安全を脅かす人道に反する行為で断じて容認できない。この非道な侵略行為に対し、我が国を含めた国際社会が連携して対応すべきである。

よってここに、いちき串木野市議会はロシアによるウクライナへの軍事侵略に断固抗議するとともに、即時かつ無条件でのロシア軍の完全撤退を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月

鹿児島県いちき串木野市議会

◆いちき串木野市議会では、ウクライナ人道危機義援金として、10万円を日本赤十字社へ送りました。

タブレット端末の導入

いちき串木野市議会では、タブレット端末を導入しました。今後、タブレット端末の有効活用により、会議資料のペーパーレス化などに努め、充実した議会運営・委員会審査となるよう、取り組んでまいります。



1月臨時会・3月定例会の表決結果

提案された議案について、議長を除く15人の議員による採決を行いました。

1. 全会一致で可決された議案等

<p>【令和4年度当初予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計 ・国民健康保険特別会計 ・地方卸売市場事業特別会計 ・介護保険特別会計 ・後期高齢者医療特別会計 ・水道事業会計 ・下水道事業会計 	<p>【条 例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金条例の一部改正 ・サテライトオフィス設置条例の設定 ・国民健康保険税条例の一部改正 ・介護保険条例の一部改正 ・消防団の設置等に関する条例の一部改正 ・消防団員等公務災害補償条例の一部改正 ・長寿祝金支給条例の一部改正 ・市営住宅条例等の一部改正 ・都市公園条例の一部改正 ・市民プール条例を廃止する条例の制定 ・市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 ・市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正 ・市職員の給与に関する条例の一部改正
<p>【令和3年度補正予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険特別会計（第2号） ・介護保険特別会計（第2号） ・後期高齢者医療特別会計（第2号） 	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の承認 ・和解及び損害賠償の額を定めること ・市道の廃止及び認定 ・農業委員会委員の任命に係る認定農業者等の過半数要件の例外適用 ・農業委員会委員の任命（12件） ・人権擁護委員候補者の推薦（2件） ・ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

2. 賛否が分かれた議案等（○は賛成、●は反対） *議長職のため表決に参加しない

(議案名)	(議員氏名)															
	西田 憲智	田畑 和彦	高木 章次	江口 祥子	吉留 良三	松崎 幹夫	田中 和矢	中村 敏彦	大六野 一美	東 育代	中里 純人	竹之内 勉	下迫田 良信	原口 政敏	福田 清宏	濱田 尚
条例 いちき串木野市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正（臨時会分）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	○	*
予算 一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	○	*
予算 一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	*
陳情 「川内原発20年運転期間延長」に伴う課題の調査・研究、議論などを求める陳情	●	●	○	●	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	*

議会活性化推進特別委員会の設置

今後の議会運営の円滑な推進や、議会及び議員活動の活性化のほか、議会機能の充実・強化を図るための調査や研究を行う『議会活性化推進特別委員会』を設置しました。期限を令和5年10月31日までとして、今後、さまざまな課題に取り組みます。

議会活性化推進特別委員会

委員 長 中里 純人
副委員 長 松崎 幹夫
委 員 西田 憲智・田畑 和彦
〃 高木 章次・田中 和矢
〃 東 育代・福田 清宏

議会の動き (令和4年2月~4月)

【2月】

- 14日 議会運営委員会
議員全員協議会
常任委員会(総務厚生・産業教育)
- 17日 議会運営委員会
- 21日 議員全員協議会
本会議(開会日)
第1回議会活性化推進特別委員会
- 22日 常任委員会(総務厚生)
- 24日 常任委員会(産業教育)

- 8日 議員全員協議会
本会議(採決・議案質疑)
予算審査特別委員会
- 9日 常任委員会(総務厚生委員会)
- 10日 常任委員会(産業教育委員会)
- 14日 予算審査特別委員会(18日まで)
- 25日 議会運営委員会
- 29日 議員全員協議会
本会議(最終日)
議会広報特別委員会

【3月】

- 3日 第1回衛生処理組合議会定例会
- 4日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
議会運営委員会

【4月】

- 5日 議会広報特別委員会
- 14日 議員研修会
議会広報特別委員会
- 25日 第2回議会活性化推進特別委員会

令和4年第3回(6月)定例会の日程(案)

第3回(6月)定例会を下記の日程で行います。
(※今後の状況により、変更になることもあります。)

月	日(曜日)	内容
6月	6日(月)	本会議(開会日・議案質疑)
	14日(火)・15日(水)	一般質問
	16日(木)	常任委員会(総務厚生委員会)
	17日(金)	常任委員会(産業教育委員会)
	27日(月)	最終本会議

(注) 時間はいずれも午前10時からの予定です。

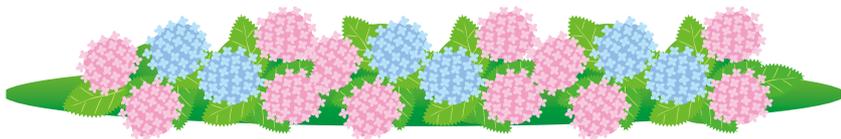
議会傍聴にどうぞ

車椅子のまま傍聴できます

- ・市議会本会議のほか、常任委員会や議員全員協議会についても傍聴できます。(傍聴の際はマスク着用をお願いします)
- ・本会議の様子は、市ホームページから生中継でご覧できます。(下のQRコードから確認できます)



3月定例会の傍聴は延べ20人でした。



編集後記

多くの子ども達に親しまれ愛され続けてきた海浜児童センターは、長崎鼻公園の整備に伴い、閉館(解体)が計画されています。こども達の笑顔と笑い声でにぎわう公園整備を期待します。

(江口 祥子)



議会広報特別委員会

- | | | | |
|------|---|---|---|
| 委員長 | 東 | 育 | 代 |
| 副委員長 | 江 | 口 | 祥 |
| 委員 | 西 | 田 | 憲 |
| 〃 | 田 | 畑 | 和 |
| 〃 | 高 | 木 | 章 |
| 〃 | 田 | 中 | 和 |
| | | | 矢 |